

# 十字架の神秘

「わたしたちは、十字架につけられたキリストを宣べ伝えています。すなわち、ユダヤ人にはつまづかせるもの、異邦人には愚かなものですが、ユダヤ人であろうがギリシア人であろうが、召された者には、神の力、神の知恵であるキリストを宣べ伝えているのです。神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからです。」 1 コリ 1:23-25

## A. 人間が神を裁く

人間は、神が苦しみを与えると、この世にある悪や人間の苦しみに対して無関心であるとか、祈りを聞き入れないなどと言うときに神を裁きます。神が自分の不幸の責任者であると決め付ける人は、神に対して有罪判決を下し、結果的に、なるべく神から離れて生きようとしています。

1. 書「あなたたちは肉に従って裁くが、わたしはだれをも裁かない。」ヨハ 8:15
2. 書「あなたたちは、この男を民衆を惑わす者としてわたしのところに連れて来た。わたしはあなたたちの前で取り調べたが、訴えているような犯罪はこの男には何も見つからなかった。」ルカ 23:14

## B. 人間の裁きに対する神の応え

### B1 ヨブの裁きに対する神の反応

3. 書「ヨブは立ち上がり、衣を裂き、髪をそり落とし、地にひれ伏して言った。「わたしは裸で母の胎を出た。裸でそこに帰ろう。主は与え、主は奪う。主の御名はほめたたえられよ。」ヨブ 1:20-21
4. 書「神にこう言おう。「わたしに罪があると言わないでください。なぜわたしと争われるのかを教えてください。手ずから造られたこのわたしを虐げ退けて／あなたに背く者のたくらみには光を当てられる。それでいいのでしょうか。」ヨブ 10:2-3
5. 書「お前はわたしが定めたことを否定し／自分を無罪とするために／わたしを有罪とさえするのか。」ヨブ 40:8
6. 書「ヨブに答えて、主は仰せになった。全能者と言い争う者よ、引き下がるのか。神を責めたてる者よ、答えるがよい。ヨブは主に答えて言った。わたしは軽々しくものを申しました。どうしてあなたに反論などできましょう。わたしはこの口に手を置きます。ひと言語りましたが、もう主張いたしません。ふた言申しましたが、もう繰り返しません。」ヨブ 40:1-5
7. 書「これは何者か。知識もないのに／神の経綸を隠そうとするとは。」そのとおりです。わたしには理解できず、わたしの知識を超えた／驚くべき御業をあげつらっております。「聞け、わたしが話す。お前に尋ねる、わたしに答えてみよ。」あなたのことを、耳にしてはおりました。しかし今、この目であなたを仰ぎ見ます。それゆえ、わたしは塵と灰の上に伏し／自分を退け、悔い改めます。」ヨブ 42:3-6

- 神と比べれば無に等しい人間には、神を裁く権利がありません。

### B2 神はイエス・キリストにおいて応える

8. 書「わたしは地上から上げられるとき、すべての人を自分のもとへ引き寄せよう。」ヨハ 12:32
9. 書「キリストも、罪のためにただ一度苦しみました。正しい方が、正しくない者たちのために苦しまれたのです。あなたがたを神のもとへ導くためです。キリストは、肉では死に渡されましたが、霊では生きる者とされたのです。」1ペト 3:18

- 神は人間をご自分のもとに引き寄せるために、ご自分の愛を表して、自分が無罪であることを示してください。

## C. イエスの使命

10. ㊦ 「父がわたしにお与えになる人は皆、わたしのところに来る。わたしのもとに来る人を、わたしは決して追い出さない。わたしが天から降って来たのは、自分の意志を行うためではなく、わたしをお遣わしになった方の御心を行うためである。」(ヨハ 6,37-38)
11. ㊦ 「あなたがたがわたしを知っているなら、わたしの父をも知ることになる。今から、あなたがたは父を知る。いや、既に父を見ている。」フィリポが「主よ、わたしたちに御父をお示してください。そうすれば満足できます」と言うと、イエスは言われた。「フィリポ、こんなに長い間一緒にいるのに、わたしが分かっていないのか。わたしを見た者は、父を見たのだ。なぜ、『わたしたちに御父をお示してください』と言うのか。」ヨハ 14:7-9
12. ㊦ 「御子は、見えない神の姿であり、すべてのものが造られる前に生まれた方です。」コロ 1:15
13. ㊦ 「神は、この御子を万物の相続者と定め、また、御子によって世界を創造されました。御子は、神の栄光の反映であり、神の本質の完全な現れであって、万物を御自分の力ある言葉によって支えておられますが、人々の罪を清められた後、天の高い所におられる大なる方の右の座にお着きになりました。」ヘブ 1:2-3
14. ㊦ 「わたしは御名を彼らに知らせました。また、これからも知らせます。わたしに対するあなたの愛が彼らの内にあり、わたしも彼らの内になるようになるためです。」ヨハ 17:26

- イエスがこの世に来られたのは、父である神の望みを行うことによって、神の本質を現すためです。

## D. 父である神がイエスの受難や十字架の死を求めたであろうか？

15. ㊦ 「そこでまた他の者を送ったが、今度はそれを殺してしまっただ。そのほか、なお大ぜいの者を送ったが、彼らを打ったり、殺したりした。ここに、もうひとりの者がいた。それは彼の愛する子であった。自分の子は敬ってくれるだろうと思っただ、最後に彼をつかわした。すると、農夫たちは『あれはあと取りだ。さあ、これを殺してしまおう。そうしたら、その財産はわれわれのものになるのだ』と話し合っただ、彼をつかまえて殺し、ぶどう園の外に投げ捨てた。」マコ 12:5-8
16. ㊦ 「神は、すべての人々が救われて真理を知るようになることを望んでおられます。」1テモ 2:4 「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」ヨハ 3:16
17. ㊦ 「わたしは今日、天と地をあなたたちに対する証人として呼び出し、生と死、祝福と呪いをあなたの前に置く。あなたは命を選び、あなたもあなたの子孫も命を得るようにし、あなたの神、主を愛し、御声を聞き、主につき従いなさい。それが、まさしくあなたの命であり、あなたは長く生きて、主があなたの先祖アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓われた土地に住むことができる。」申 30:19-20
18. ㊦ 「そこで、ピラトは、「あのユダヤ人の王を釈放してほしいのか」と言った。祭司長たちがイエスを引き渡したのは、ねたみのためだと分かっていたからである。祭司長たちは、バラバ (Bar-Abba) の方を釈放してもらおうように群衆を扇動した。」マコ 15:9-11
19. ㊦ 「あなたがたは、命への導き手である方を殺してしまいましたが、神はこの方を死者の中から復活させてくださいました。わたしたちは、このことの証人です。」使 3:15
20. ㊦ 「わたしたちが語るのは、隠されていた、神秘としての神の知恵であり、神がわたしたちに栄光を与えるために、世界の始まる前から定めておられたものです。この世の支配者たちはだれ一人、この知恵を理解しませんでした。もし理解していたら、栄光の主を十字架につけはしなかったでしょう。」1コリ 2:7-8
21. ㊦ 「さて、過越祭の前のことである。イエスは、この世から父のもとへ移る御自分の時が来たことを悟り、世にいる弟子たちを愛して、この上なく愛し抜かれた。」(ヨハ 13,1)
22. ㊦ 「イエスは大声で叫ばれた。「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。」こう言って息を引き取られた。」(ルカ 23:46)

※ 「これまでに行われた最大の道徳的な悪は、神の御子を排斥し殺害したことです。」

(カトリック教会のカテキズム 312)

- イエスの受難と死は、父である神の望みではなく、神の望みに逆らう人間の仕業(罪)でした。
- イエスが、神から与えられた使命を完全に成し遂げられたのは、多くの苦しみを受けたためではなく、大きな苦しみの中にあっても、神と人を愛し続けたからです。
- イエスは、ご自分の命を神にささげたことによって、人間の罪をいけにえ(奉獻)に変えてくださいました。

## E. 神の愛の啓示

### E1. 神の忠実な愛とその結果

23. ㊦ 「ユダはすぐイエスに近寄り、「先生、こんばんは」と言って接吻した。イエスは、「友よ、しようとしていることをするがよい」と言われた。すると人々は進み寄り、イエスに手をかけて捕らえた。」マタ 26:49-50
24. ㊦ 「そのとき、イエスは言われた。「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです。」人々はくじを引いて、イエスの服を分け合った。」ルカ 23:34
25. ㊦ 「つまり、神はキリストによって世を御自分と和解させ、人々の罪の責任を問うことなく、和解の言葉をわたしたちにゆだねられたのです。」（二コリ 5,19）

- イエスは、神が人間を徹底的に愛していることを現しました。
  - ◇ 人間は神の愛の招きを拒んでも、御子を殺すことにしても、神は人間の自由意志に基づく選択を尊重し、愛し続けます。
  - ◇ 神は忠実な方なので、どんなことがあっても人間に対する神の心（愛）は変わりません。
  - ◇ 神は絶えず人間を和解へと招いてくださいます。

### E2. 神の受難

26. ㊦ 「わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってください。」1ヨハ 4:16

- 愛が何よりも傷つきやすいものです。
- 愛そのものである神は私たちの罪（不忠実、無関心など）によって絶えず傷つけられています。
- ご自分の教えと活動によってイエスは、神が人間を愛しているので、その苦しみに対して無関心ではないこと、人間の苦しみを求めないし、人間をすべての苦しみから解放するように働いていることを現しました。
- 十字架上では、私たちの苦しみは神の苦しみとなっているということを現しました。
- 凡そ 2000 年前のイエスの受難は、現在の神の受難を現します。イエスの受難は、数時間で終わりましたが、神の受難は、人間の苦しみや人間の罪がある限り続きます。

## F. 神の呼びかけ

27. ㊦ 「民衆と嘆き悲しむ婦人たちが大きな群れを成して、イエスに従った。イエスは婦人たちの方を振り向いて言われた。「エルサレムの娘たち、わたしのために泣くな。むしろ、自分と自分の子供たちのために泣け。」人々が、『子を産めない女、産んだことのない胎、乳を飲ませたことのない乳房は幸いだ』と言う日が来る。そのとき、人々は山に向かっては、／『我々の上に崩れ落ちてくれ』と言ひ、／丘に向かっては、／『我々を覆ってくれ』と言ひ始める。『生の木』さえこうされるのなら、『枯れた木』はいったいどうなるのだろうか。』ルカ 23:27-32

- 十字架に付けられているイエスの姿において、傷ついている神の愛の偉大さと同時に、この愛を何よりも必要としながら、それを拒む人、永遠に生きたいと望みながらも、永遠の死を選ぶ人の愚かさを見出すことが出来ます。
- 十字架から、イエスを通して神が呼びます：「わたしはそんな苦しみを受けるほどあなたを愛して、あなたの善と幸福を求めているので、恐れずにわたしのもとに近づき、わたしに信頼し、わたしの愛の招きを受け入れてください！」と。

## G. 愛に生きるために必要な自由と勇気の源である十字架

28. ㊦ 「このように、子たちは血と肉とに共にあずかっているのです、イエスもまた同様に、それらをそなえておられる。それは、死の力を持つ者、すなわち悪魔を、ご自分の死によって滅ぼし、死の恐怖のために一生涯、奴隷となっていた者たちを、解き放つためである。」 ヘブ 2:14-15
29. ㊦ 「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています。」 ロマ 8:28
30. ㊦ 「罪が増したところには、恵みはなおいっそう満ちあふれました。」 ロマ 5:20
31. ㊦ 「わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってくださいます。こうして、愛がわたしたちの内に全うされているので、裁きの日に確信を持つことができます。この世でわたしたちも、イエスのようであるからです。愛には恐れがない。完全な愛は恐れを締め出します。なぜなら、恐れは罰を伴い、恐れる者には愛が全うされていないからです。わたしたちが愛するのは、神がまずわたしたちを愛してくださったからです。」 1ヨハ 4:16-19

- 神には、悪を善のために利用する（悪から善を引き出す）力があることを示しました。

「これまでに行われた**最大の道徳的な悪は、神の御子を排斥し殺害したことです。**これはあらゆる人間の罪が原因ですが、神は満ち溢れる恵みによって、そこから**最大の善であるキリストの栄光とわたしたちのあがないを引き出されました。**とはいえ、悪が善になるわけではありません。」

(カトリック教会のカテキズム 312)

- 愛の強さを示しました。（愛には、苦しみが伴うが、愛の目的は痛みや死ではなく、真の命なのである。愛はあらゆる悪や痛み、死さえよりも強い。）
- 愛を求める神を絶対的に信頼するように呼びかけています。神は忠実な方なので、与えてくださった約束を必ず（私たちが期待しているよりも素晴らしく）実現してください。

## H. 十字架の実り

- イエスは十字架上で、神の愛に完全に応えて、人類を神と和解させました。
- 新しい契約 （永遠に変わる事のない愛の誓約、奉獻）
- 神の国の実現 （神と人間の完全な愛の交わり）